

## What 人生100年時代に向けてどのような住まいと暮らし方のシーンを創出すべきか

### 回答欄：

- ・ ライフステージや個人の価値観に合わせて、柔軟に住まいと暮らし方を選択、設計できる。
- ・ 誰もが安心して住まい、暮らせるためのセーフティネットが保たれている。

## Why なぜ上記のシーンを創出しようと思ったか

### 1) 現在のライフシーンを取り巻く状況

#### 回答欄：

- ・ 生活者が将来を見通しにくい、変化が大きく、不安定な社会。
- ・ 居住空間での働く、学ぶといった活動の広がり。

### 2) 人生100年時代に想定される変化

#### 回答欄：

- ・ 持続可能な社会の実現に向けた制度・取り組みが浸透。
- ・ 複数拠点生活者（地元+ $\alpha$ 、都市+田舎）が増加。

### 3) 新しいライフシーンはどのような豊かさを私たちの暮らしや社会にもたらすか

#### 回答欄：

- ・ 住まい・暮らしの拠点をより主体的に選べることで、今まで以上に地域への愛着、コミュニティのつながり、互助が強化される。
- ・ ゆとりのある住まい・暮らし、良好な人間関係によって余分なストレスが軽減され、健康長寿になる。

## How 上記のシーンの創出のために変化をどのように取り入れ、都市・インフラをどのように変えていくか

### 1) ライフシーンの変化＝シフトの取り入れ方

#### 回答欄：

- ・ 地域社会として、人口や経済力とは異なる魅力の発信が必須。
- ・ 短期的ではなく、長期的な視点での生活設計。

### 2) 着目する都市・インフラ

#### 回答欄：

- ・ 住宅。
- ・ 公共施設（役所、図書館）、医療・福祉施設。